

## 製品名: SPINK5 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87149

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:121 kDa; Observed MW:121 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	SPINK5
別名	NS; NETS; LEKTI; LETKI; VAKTI
遺伝子ID	11005
SwissProt ID	Q9NQ38
免疫原	ヒト SPINK5 の合成ペプチド

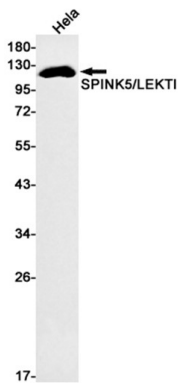
### 背景

この遺伝子は、15個の阻害ドメインを含むマルチドメインセリンプロテアーゼ阻害剤をコードしています。コードされているプレブ

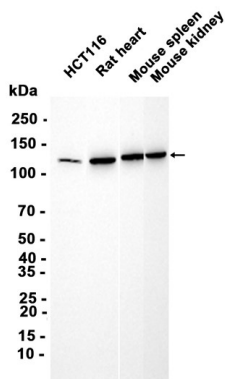
ロタンパク質はタンパク質分解によって複数のタンパク質産物が生成され、それぞれが独自の活性と特異性を示す可能性があります。これらのタンパク質は、皮膚や毛髪の状態形成、粘膜上皮の抗炎症および抗菌保護において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の変異は、魚鱗癬、角化不全、アトピーを特徴とする疾患であるネザートン症候群を引き起こす可能性があります。この遺伝子は5番染色体上の遺伝子クラスターに存在します。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2015年10月]

## 研究分野

## 画像データ



SPINK5/LEKTI 抗体 (1:500 希釈) を使用した HeLa 細胞溶解物中の SPINK5/LEKTI のウェスタンブロット検出。



AMRe87149 を 1:2000 で使用して、HCT116 細胞およびラットの心臓、マウスの脾臓、マウスの腎臓組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。